

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2023No.304】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

曲名：《スペードの女王》 op. 68

演奏：キリル・ペトレンコ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/53929>

2022年4月18日バーデン＝バーデンにおける演奏です。



ペトレンコがバーデン＝バーデンでチャイコフスキー《スペードの女王》を指揮
キリル・ペトレンコにとって、チャイコフスキーの《スペードの女王》は19世紀後半のロシアの音楽劇の中でおそらく最も重要な「宝石」であると言えるでしょう。パンデミックの後、ベルリンフィルが首席指揮者の指揮の下、初めて舞台上演したオペラでもあります。2022年のバーデン＝バーデンのイースター音楽祭で演出を担当したのは、モーシュ・ライザーとパトリス・コーリエ。エレナ・スティキナとアルセン・ソホモニアンが主役を演じました。

スタッフおよび出演者は以下のとおりです。

モーシュ・ライザー(演出)

パトリス・コーリエ(演出)

アルセン・ソホモニアン(テノール/ゲルマン)

ヴラジスラフ・スリムスキー(バリトン/トムスキー伯爵)

ボリス・ピンハソヴィチ(バリトン/エレッツキー公爵)

エレナ・スティキナ(ソプラノ/リーザ)

ドリス・ソッフエル(アルト/伯爵夫人)

アイグル・アフメトシナ(メゾソプラノ/ポリーナ)

クリストフ・ボンセ・ドゥ・ソラージュ

(テノール/チャプリツキー、賭博師、司会)

マルガリータ?・ネクラソヴァ(アルト/女家庭教師)

アナトーリ・シフコ(バリトン/スリン)

エフゲニー・アキモフ(テノール/チェカリンスキー)

マーク・クルマンバエフ(バス/ナムロフ、賭博師)

スロヴァキア・フィルハーモニー合唱団

カントゥス・ユヴェヌム・カールスルーエ

昨年の4月18日のバーデン=バーデンのイースター音楽祭の収録の公開です。バーデン=バーデンは、オペラが上演できる劇場のようで、ベルリンフィルはオーケストラピットでの演奏です。

このオペラは馴染みがないので、オペラの解説サイトで粗筋をみてから試聴しました。スペードの女王はプーシキンの小説に題材をとった、演奏時間が2時間40分におよぶオペラの大作です。

LAN iSilencerを追加し、前報(302)で左右の音のバランスをとる処置を実施しましたので、ステージ上の歌手達の歌唱やオーケストラピットでの演奏の音に注目して聴いていきました。

1幕の女性歌手達のソロ、デュエット、合唱は、ソフトでありながら、よく声に通っています。男女の歌手の掛け合いのダイナミックな歌唱も、残響も含めてリアルです。

2幕の合唱シーンでも、空間表現がしっかりしています。また、独唱、合唱、オーケストラのバランスもとれています。

3幕では、カードゲームに興ずる男たちの馬鹿騒ぎの力強い歌唱とカードの秘密どおりの賭けに失敗した主人公の哀れな死を悼む静かな幕引きとなります。

このオペラでは、歌手達の圧倒的な歌唱力が伝わってきて、最後のカーテンコールの聴衆の熱気がそれを証明しています。

オーケストラはピットでの演奏ながら、それほどこもったような音にはなっていません。序曲では、オーケストラピットの映像が流れますが、ペトレンコが楽しそうに指揮している様子が映ります。



From the
Festspielhaus Baden-Baden



Come on, let's go
and tease him a little!



以上